

ECセンター活動と今後の方向性

ECALGAの標準化範囲

従来の受発注データの大量伝送から、開発・設計段階のエンジニアリング情報と、所要・供給計画・予約等の調整業務までを電子化、シームレス化



(ECALS)
カタログ情報

電子化範囲の拡大

(従来EDI)
基本取引 (注文、買掛、支払、..)

コラボレーション範囲の拡大

納入仕様書交換

環境情報交換

新製品、見積、サプ^ルル情報交換

廃止品情報交換

所要+予約、所要協業

倉庫事業者預託

コンサイメント

JITモデル

ECALGA標準2006Aトピックス

- ▶ ECALGA標準2006Aの解説と今後の取り組み
 - CIIメッセージ（赤本版）の反映と使い易い標準書体系
- ▶ エンジニアリングチェーンの取り組み
 - 廃止品情報交換モデルの発表と仕様書交換の電子署名適用
- ▶ 納入仕様書電子交換モデルの導入事例紹介
 - 日本ビクター株式会社殿における実用化状況
- ▶ ECALSによる部品情報流通共通化促進の取り組み
 - コンテンツの拡充と検索システムお試しサービスの提供
- ▶ 新しい環境情報電子交換モデルの紹介
 - Web-EDI方式、PDF交換方式による標準化検討
- ▶ EDI共通基盤の取り組み
 - XML/EDIを容易に実現するPCソフトの無償公開
- ▶ 電子タグ実証実験概要と今後の取り組み
 - 電子タグを利活用したトータルトレーサビリティ実験結果

ECALGA標準拡張の今後の展開

国際・業際・他業界との標準化協調

- ・自動車&自動車部品業界
- ・ソフトウェア業界
- ・EMS業界
- ・中国業界／韓国業界

将来課題を展望した標準化取組み

新たな情報技術、取引規制への対応

- ・電子タグ
- ・環境規制／リサイクル促進

ECALGA標準
今後の方向性

ECALGA標準化の振り返り

- ・ビジネスプロセスのモデル化
- ・標準化の取組みスピード
- ・標準化と実用化の取組みバランス
- ・実用化のステップ

ECALGA標準普及促進、改善、改良

- ・中堅中小機器/部品メーカー向け施策
共通クライアント基盤ソフト公開
- ・部品情報/環境情報流通化の促進

現場直結課題への取組み

- ・現状業務の合理化に貢献する標準化
- ・各社ビジネス現場共通課題への対応
- Web-EDIに対する標準化取組み
- PDFを利用した情報交換の標準化

現状課題に即応する標準化取組み

ECALGA標準ロードマップ

活動形態		2006/上	2006/下	2007/上	2007/下
実用化 ロードマップ		導入企業の拡大/技術情報交換の実用化拡大 JEITA-VMI 納入仕様書交換		廃止品情報交換 環境情報交換	
		中堅・中小企業への本格普及 国際取引/海外取引への適用拡大 新技術(電子タグ)への適合			
EC センター 活動	標準化 検討課題	環境情報交換(WEB、PDF化等) 電子タグ利活用モデル WEB-EDI標準仕様	国際取引モデル	JITモデル 購入仕様書交換モデル 技術見積交換モデル サンプル情報交換モデル 新製品情報交換モデル eメールEDI標準仕様	
	ユーザ拡大 ・グローバル化 ・インフラ強化	EDI共通基盤ソフト無償配布 (説明会8月予定) ECALSカタログ/環境コンテンツ拡充	国際交流(中国、韓国等) 電子認証	日中韓連携 電子タグインフラ整備	2007Aセミナー 開催(2月予定)